

2023年度「データサイエンス基礎」受講生の声

所属	受講生の声
学芸学部音楽学科 T.Mさん	この授業を学ぶ意味、現代におけるデータサイエンスの重要性を大いに感じる事ができました。普段は分析されたデータを見ただけで鵜呑みしてしまいそうですが、この授業を通して身近にあふれる情報にもきちんと疑ってかからなければいけないと思いました。Excelの基本操作だけではなく難しい関数や便利な機能なども知ることができ、今後も使っていくことで身につけたいと思います。
学芸学部メディア創造学科 G.Fさん	自分のなかに先入観があって、「自分がこうだとおもったらこう」という気持ちが強いです。今回は仮説が立証したので良かったのですが、自分が思っていたのと違う結果だったら無理やりこじつけてでも自分の意見を貫き通してしまうのではないかと思います。この気持ちを無くして、切り替えて違うこととの関係を考えることが大事だと学びました。
学芸学部国際教養学科 M.Kさん	私たちは日常で無意識にデータサイエンスを使用していただけなので、私は今までそれについて全く考えることはなかったけれど、授業を通してそれがいかに私たちにとって重要であるということを知れたので、学んでよかったなと感じました。また、エクセルの使い方を知ったことで他の授業のプレゼンテーションでエクセルを使ったグラフをパワーポイントに載せて発表するなど、今まで学んだことが他にも生かされていると感じました。これからの将来にも今まで習ったことは役に立つと思うので、学んだことを忘れず、これからにつなげていきたいと思います。
現代社会学部社会システム学科 Y.Uさん	ただデータについて学ぶだけでなくデータの概念やエクセルを使ったデータの扱い方、グラフ作成時の注意などを様々な視点から考えることができたので良かったです。良くも悪くも様々な情報であふれかえっているこの世の中で私たちがどうしていくべきなのかについて考えることができました。データは人間の扱い方によって大きく変わっていくことを知って、その怖さも感じました。この授業で得た知識を将来でも生かせるようにしたいです。
現代社会学部現代こども学科 A.Iさん	受講する前は、データサイエンスは今後必要な知識・技術であるとわかっていながら、難しそうというイメージが強く学ぶことに抵抗感を感じていました。しかし、15回の授業を通して感じたことは、難しいというイメージは少し残っているけれど、それ以上に興味を持つことができて、とても自分にとって学びのある授業であったと感じました。解説も分かりやすく、丁寧に、難しい内容も諦めることなく、受講することができました。今回で、データサイエンス基礎の授業は終わってしましますが、これからもデータサイエンスを学び続けようと考えています。
薬学部医療薬学科 S.Hさん	受験時にデータサイエンス学科に関心があったことから、データサイエンスとは、医療に密接な関連性があるというイメージがあったのですが、15回の講義を通して、医療だけではなく、幅広い分野にまでおよぶ学問であるという事がわかりました。また、データサイエンスは、データやデータ分析やデータ作成との繋がりが強く、とても関心が湧きました。講義の中で最も興味深かったのは、人工知能と異なるヒトの存在意義について自分なりに考えた事です。
看護学部看護学科 I.Wさん	必修の授業ではなく、共通学芸科目でしたので履修するか迷っていました。「データサイエンス基礎」を選択した友だちはあまり居なくて不安でしたが、一つ一つ説明しながら一緒に進めていきますし、動画を見ながら自分の理解出来るスピードで行えば何も問題がなく進めることが出来たのでとても安心しました。 この授業のおかげで、ものの見方が変わったと感じます。よく分からない情報に踊らされることも本当に少なくなったし、そんな自分を俯瞰して見られるようになったことはとても大きな学びだったと言えると思います。 パソコンを扱うことに苦手意識がありましたが、わかりやすく教えていただいたので無理なく授業を受けることが出来ました。
表象文化学部英語英文学科 M.Mさん	あまり情報のことを学ぶことやそれをもとにエクセルを使うことに意義を感じていなかったけれど、この授業を通してデータを分析して研究することの大切さを学ぶことが出来てよかった。結果だけを重視すると誤ったデータを信用してしまうなどの危険性があるので、気をつける必要があるということや、仮説にこだわったり自分の思い込みを持ちすぎることなく新たな分析へ気付くことが大切だということも学んだ。グラフを作るときは見る人に分かりやすく正確に伝わるように工夫することも大切だと気付いた。第1回から15回までの授業の内容を復習したことで学んだことを思い出し、これからの活かせると思った。
表象文化学部日本語日本文学科 K.Iさん	わたしは今までデータサイエンスというものにあまり触れてこなかったもので、少し難易度が高いかと感じました。データサイエンスを学ぶことで、問題解決にデータを活用し、意思決定を裏付けるスキルを磨けたかなと思います。また、統計学や機械学習の理解が深まり、予測モデルの構築やデータの有益な洞察を得る能力が向上しました。これにより、ビジネスや研究において効果的なデータ利活用が可能となり、専門的な職業にも就く機会が広がる可能性があると思います。
生活科学部人間生活学科 N.Mさん	課題、仮説、目的をたて、グラフを作成しデータから分かることを分析し考察することで、データの関係性が見つかったので面白かったです。これからもこの授業で身につけた知識を大学のレポートや、卒業後の仕事に役立てるように日頃から使っていきたいです。自分たちが回答したアンケートの結果が分析資料となって、グラフを作成するというのが新感覚で楽しかったです。
生活科学部食物栄養科学科 M.Mさん	明らかにしたい事象との関係が見つからなかったことが、新たな分析の観点への気づきとなるため、仮説にこだわりすぎず、次の仮説を立てる勇気を持つことが大切だという記述があったが、分析を行う過程で、自分なりに吟味して立てた仮説や結果の予想が思い通りにいかなかったとき、その仮説を棄却して新しい仮説を立てようとするのはすごく勇気がいる、と感じた経験があるので、とても納得した。固定概念として思い込んでいることや、先入観をもって分析を進めることは、正しい結論を出すことから道筋がそれてしまうことがあるので、根拠があるかどうか確認しながら分析を進める必要があると分かった。